

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第5区分
 【発行日】令和2年12月3日(2020.12.3)

【公開番号】特開2019-123340(P2019-123340A)
 【公開日】令和1年7月25日(2019.7.25)
 【年通号数】公開・登録公報2019-030
 【出願番号】特願2018-4601(P2018-4601)
 【国際特許分類】

B 6 0 K 15/03 (2006.01)
B 6 0 K 15/073 (2006.01)
F 0 2 M 37/00 (2006.01)
B 3 2 B 1/02 (2006.01)
B 3 2 B 3/26 (2006.01)
B 3 2 B 15/08 (2006.01)
B 6 5 D 25/34 (2006.01)

【F I】

B 6 0 K 15/03 B
 B 6 0 K 15/073
 F 0 2 M 37/00 3 0 1 D
 B 3 2 B 1/02
 B 3 2 B 3/26 A
 B 3 2 B 15/08 E
 B 6 5 D 25/34 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月26日(2020.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

燃料を貯留するタンク本体と、
 前記タンク本体の外表面を覆う断熱部材と、
 耐火性を有する材料からなり、前記断熱部材の外表面を覆う状態で前記タンク本体に取り付けられたプロテクタとを備えていることを特徴とする燃料タンク。

【請求項2】

前記プロテクタには、前記プロテクタの内表面を凹ませた形態の凹部が形成されていることを特徴とする請求項1記載の燃料タンク。

【請求項3】

前記プロテクタの外表面にヒートシンクが形成されていることを特徴とする請求項1又は請求項2記載の燃料タンク。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、前記プロテクタには、前記プロテクタの内面を凹ませた形態の凹部が形成されていてもよい。この構成によれば、プロテクタの内面と断熱部材の外面との接触面積が小さくなるので、プロテクタが高温になっても、プロテクタから断熱部材への熱伝達が抑制される。